



# しばた議会だより



(船岡地区子どもみこし祭り)

## みんなで力をあわせ ワッショイワッショイ

- 豊かな暮らしと幸せ感じる町を見据えて..... 2~3  
平成26年度当初予算可決
- 総括質疑 ..... 4~5
- 予算審査特別委員会 ..... 6~8
- 3月会議(定例) ..... 9
- 3月会議(定例)・2月会議(臨時)・4月会議(通年議会開会) ..... 10
- 会議の出欠状況・議案に対する賛否 ..... 11
- 一般質問(16人)・その他の質問 ..... 12~20
- 常任委員会レポート・行政視察報告 ..... 21~23
- あなたの一言(伊勢木高夫さん) ..... 24

# 感じる町を見据えて

当初予算  
可決

## 総額225億円の予算でスタート

### 一般会計予算 対前年度比3.5割の増

3月会議は、3月10日から20日までの日程で開かれ、平成26年度予算の審議を行いました。114億円の一般会計は賛成多数で、各種特別会計予算、水道事業会計予算は全会一致で可決されました。

平成26年度当初予算は、町営住宅の建設、幹線道路や公園の整備、学校施設の整備、水害対策などの事業を盛り込んだことで、一般会計の予算総額が、対前年度比3.5割増の114億7千700万円となりました。

1億7千90万円増え、合計126億1千750万円となる見込みです。消費税率の引き上げに伴い、投資的経費や物件費、維持補修費などが増えていきます。費目別にみると、割合の多い順に、

歳入は、町税と地方交付税を合わせて、67億1千900万円となります。財政調整基金（町の貯金）は、当初予算の段階で約10億円を見込んでいます。町債（町の借金）は、北船岡町営住宅3号棟新築工事などにより、11億4千190万円となります。26年度末の町債残高は、

中長期的な財政運営は、いくつかの大型事業を控えているため、難しいかじ取りを迫られていることには変わりはありません。今後も財政規律に沿って運営する必要があり、議会としても検証していきます。

### 本年度の主な事業

#### 新規事業

- ◎ 後期基本計画策定支援事業
- ◎ 槻木まちづくり研究会事業
- ◎ 太陽光発電設備工事
- ◎ 私立幼稚園民営化移行補助事業(第二たんぼ幼稚園)
- ◎ 健康づくりポイント事業
- ◎ 大豆・麦・そば等生産体制整備事業
- ◎ 北船岡町営住宅3号棟建設事業



北船岡町営住宅3号棟建設予定地



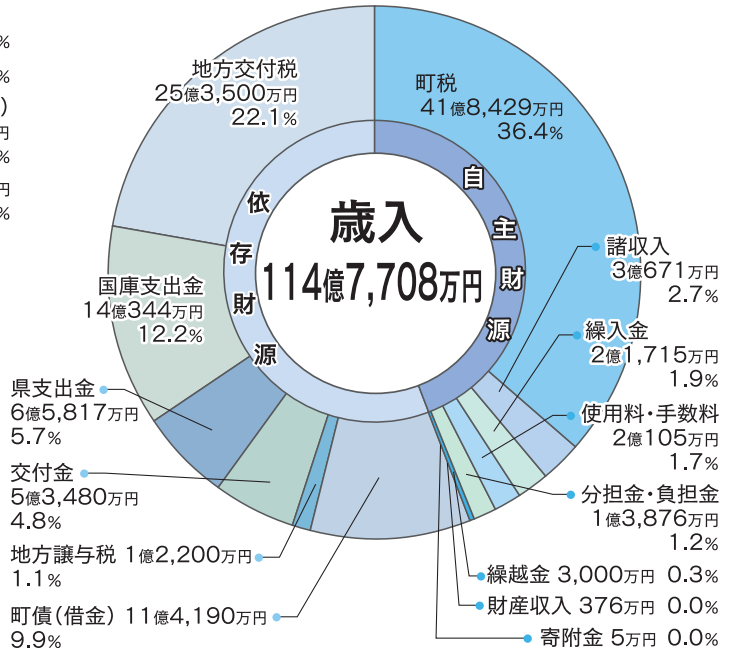
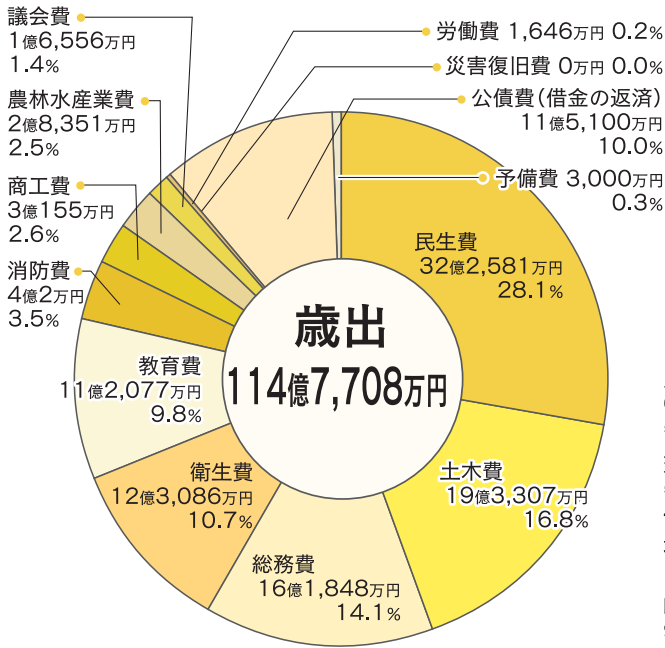
槻木を次世代に誇れるまちに（槻木駅周辺）



平成26年度

# 豊かな暮らしと幸せ

一般会計114億円など、



- ◎ 道路新設改良事業
- ◎ 各小・中学校改修整備工事
- ◎ (仮称)総合体育館基本構想策定委託
- ◎ 総合型地域スポーツクラブ設立支援補助事業
- ◎ 槻木小学校プール改築工事
- ◎ 三名生児童館新築工事
- 継続事業**
- ◎ 地域づくり補助金制度
- ◎ 子ども医療費助成事業
- ◎ 町有害鳥獣駆除対策事業
- ◎ 公園施設整備事業
- ◎ しばた桜まつり事業

## 討論

平成26年度  
一般会計予算

### 反対討論

秋本好則議員

広沢 真議員

昨年の議会でさくら連絡橋の説明責任を果たすとの町長宣言があったが、いまだ果たされずにいる。この予算案は苦勞の跡が見えるが、財政不安への対処方法が示されない。子どもや孫の世代にツケを回してはならない。進めるべきである。

### 賛成討論

桜場政行議員

佐々木裕子議員

歳入は町税のほか、交付税などの一般財源を精査して実態に応じて積算している。歳出では児童施設や教育施設の充実、地域コミュニティの推進など、町民の要求に応えたものとなっており、妥当な予算編成である。

歳入は、町税が前年度比1.8割増、地方交付税が1.9割減となっている。歳出は、健康づくりポイント事業や柴田児童館民営化移行補助イノシシ対策、道路整備、町営住宅建設など、各分野に配慮した予算編成である。

総括質疑



平間幸弘 議員

問

行政は、もっと地域活動をサポートできないか

- (1) 子どもたちが参加する地域の行事などに對し、学校職員はもっと活動に参加できないか。
- (2) 観光戦略として、町独自の特産物やお土産、ここでしか買えない商品などの開発に特化した予算措置はできないか。
- (3) 今後のほ場整備に對し、担い手農家の平均年齢を視野に入れ、町として断固たる決意で成し遂げてほしいが、いかがか。
- (4) 各地区に住む町職員を、もっと地域コミュニティの中で、活動できるような体制を取れないか。

答

「地域ひりき支援員」の派遣を通じて、サポートする

- (1) 既に地域の大きな行事に對し、学校職員も参加している。
- (2) 観光物産協会やJ Aと連携し、町ならではの特産物やお土産の開発に對し、予算措置をしながら進める。
- (3) 柴田町農業振興会内に「ほ場整備推進プロジェクトチーム」や「集落営農推進プロジェクトチーム」を設置し、関係機関連携のもと推進する。
- (4) 地域に住む町職員も地域の一員として、日頃から町のパイプ役をしているとともに、各行政区に要望があれば、「地域づくり支援員」を派遣する。

総括質疑

問

東日本大震災を経験し、金銭的な尺度でないまちづくりを求める

どのくらい国のお金を引き出したかというアナクロニズムのまちづくりではなく、いかに地域が充実したかという尺度でまちづくりを語るべきだと思う。その観点から問う。

答

經常収支比率が93%で改修に回せる財源は少ないが、安心の地域社会を目指す

民参加の方策はあるのか。

- (1) 42区のコミュニティがあり、その一方で行政は「ふるさと協議会」をもコミュニティとして進めている。どのような地域コミュニティを考えているか。
- (2) 地元の産業や商店街を基軸とした地域循環型経済での経済効果額は。
- (3) 毎年19億6千万円の公共施設改修費用が必要だが、対策は。
- (4) 施策項目ごとに住

- (1) 町は、最小単位の自治会や町内会などを育てながらも、より広域的な組織の育成にも努め、重層的な組織体制を構築する。
- (2) 地域内での再投資力の支援で、地域循環型の経済を目指す。
- \* (経済効果額への回答はなし)
- (3) 公共施設マネジメントの考え方を導入して、施設の整備には目的別基金を準備していく。何をやめて何をするかを町民に説明していくのは、大変な大事なことと考える。
- (4) まちづくり基本条例の第26条に沿って、住民参加を図っていく。



秋本好則 議員

総括質疑

問

槻木まちづくり研究会の具体的な内容は

- (1) 今後、総合体育館や給食センター建設など大型事業を控え、難しいかじ取りを迫られている。この時期に町債残高が増えることは、次世代に負担を強いることになり、将来負担比率、実質公債費比率、財政力指数の悪化を招くことが懸念される。これをどう捉えるか所見を伺う。
- (2) 町道槻木169号線ほか19路線の道路補修工事の具体的な内容を伺う。
- (3) 「(仮称) 槻木まちづくり研究会」立ち上げの具体的な内容は。

答

槻木を次世代に誇れるまちにするため、宮城大学との連携を進める

- (1) 町債残高は、当初予算で、1億790万円の増加となった。町債を増やせば財政を悪化させる。ただし、現時点での、将来負担比率、実質公債費比率はともに、国が示す早期健全化基準以下となっている。数値は複眼的かつ中長期にみてほしい。
- (2) 槻木地区は10路線、延長3千950㍎、船岡地区は10路線、延長2千710㍎で、合計20路線、総延長6千660㍎である。
- (3) 槻木地区あげて、槻木まちづくり研究会を組織し、最善策を宮城大学との連携を進める。



斎藤義勝 議員





佐々木 守 議員

**問** 第5次柴田町  
総合計画書前期  
計画の評価は

(1) 今年は実施計画書の最終年度になるが、計画どおりできたのか。また、評価は。

(2) アベノミクスの「三本の矢」の政策に基づく「経済の好循環」の予算を活用して、柴田町の未来像を示していくことは何か。

(3) 平成25年度3月補正で、「好循環実現のための経済対策」で認められた学校施設整備関連事業や、市街地整備総合交付金などにより、26年度の政策目標は達成されるのか。

(4) 後期基本計画では、どのような柴田町をつくっていくのか。

**答** 待機事業や懸案事項が、  
ほぼ計画どおり  
実施できた評価

(1) 学校教育や子育ての施設整備、道路や公園の整備、水害対策などを行うことができた評価している。

(2) 国の政策を注視しながら、利活用できる施策については積極的に活用し、後期基本計画に反映し、将来像の実現を図る。

(3) 3月補正予算により、槻木小学校プール改築事業などの学校施設整備関連事業や、市街地整備総合交付金事業は前倒しで実施する。26年度事業と合わせて実施すれば、目標を達成できる。

(4) 「みんなで育てる笑顔輝く元気なまち」をスローガンに、まちづくりを進める。

**問** 建設事業が集中すると財政に影響があるのでは

消費増税が行われる中、景気の後退が心配され、税収減も予想される。町債残高増は大きな懸念である。

**答** 国の補助金を活用し  
町財政の負担軽減を図る

(1) 町債残高が増加していることをどう考えるか。

(2) 長期計画で位置づけてきた建設事業を、前倒しで行うことが残高の増の原因では。

(3) 同じ時期に建設事業が集中すると、将来的に修繕や建て替えの時期が重なり、財政負担が大きくなるのでは。

(4) 国の補助金などを利用しても、事業数が増えれば町の借金も積み重なっていくのではないか。

(1) 国の有利な交付金・補助金を活用し、町の負担が増えないように、財政危機を避けながら、住民サービスを確保していく。

(2) 国の有利な交付金・補助金を活用し、すぐにはできないはずの事業を前倒しで取り組んでいる。国の交付金・補助金がなければ事業は実施できない。

(3) 現在の財政負担が軽減され、将来の財政逼迫を防ぐことにつながると思う。

(4) 現在の制度では、町債支払いの5割が地方交付税で還元される。また、金融の低金利と合わせれば有利に事業が展開できる。危機に陥らない財政運営ができている。



広沢 真 議員

**問** 厳しい財政状況を  
理解いただけるような  
情報の提供を

施政方針に「柴田町の財政状況が好転」とあるが、平成23年度の市町村財政比較分析表によれば、類似団体141団体中、柴田町は財政力指数が78位、経常収支比率129位、将来負担比率92位、実質公債費比率98位である。また、分析欄には「後世への負担を少しでも軽減するよう財政の健全化を図る必要がある」「今後、起債依存型の事業実施を見直す必要がある」と記載されている。

このように厳しい財政状況を住民に理解していただけるよう、情報提供が必要なのは。

**答** 硬化化した状況では  
あるが、財政は好転  
したと判断している

経常経費が93割と硬化化した中でも、財政健全化判断比率の数値が低下していること、貯金ができ資金繰りが楽になったことから、財政は好転したと判断している。放漫経営で硬化している訳ではない。厳しい財政状況は間違いないので、国の資金を上手に活用し、住民の切実な要望に順次応えている。類似自治体と比較した数値のみを取り上げ、財政の厳しさを強調すると、今後、総合体育館や本格的な図書館などの建設に支障が出かねないので、中長期的な視点での評価をお願いしたい。



白内恵美子 議員

予算審査特別委員会



あなたの

# 税金

どのように使われているのか



3月14日に予算審査特別委員会を設置し、26年度の一般会計、特別会計及び水道事業会計について審議し、3月20日に終了しました。質疑内容の一部を紹介します。

## 歳入

### 太陽光パネル設置

**質疑** 国庫補助金にある再生可能エネルギー事業等導入補助金について、詳しい説明を。

**答弁** 県の地域環境保全特別基金（通称グリーンニューデール基金）に、新たに県及び市町村が行う防災拠点施設における災害時の対応を支援するもの。

26年度は、役場庁舎、地域福祉センター、太陽の村に、27年度は、（仮称）船迫こどもセンター、船迫生涯学習センター、船岡生涯学習センター



槻木中学校屋上に設置されている太陽光パネル

ターに太陽光パネルを設置する予定。既に太陽光パネルを設置している槻木中学校には、蓄電池を設置する予定。

### し尿汲み取り手数料増へ

**質疑** し尿汲み取り手数料について、低所得者への配慮はしたのか。

**答弁** 25年ぶりに料金改定し、4月1日より新料

金となる。1世帯当たり年間の汲み取り料金は、改定前に比べ約3千円増える見込み。低所得者も含め、新料金で負担していただくことになる。

### 町税滞納者対策

**質疑** 町税滞納者に対して、町としての対策や対応は。

**答弁** 滞納者に対する徴収対策として、まず納税相談をする。納付されない場合、催告、催告、督促を行っていく。それでも反応がない場合には、仙南広域事務組合にある滞納整理機構に移管し、差し押さえなどを講じていく。

### 国庫補助金の説明

**質疑** 国庫補助金の社会資本整備総合交付金、防災・安全社会資本整備交付金の説明を。

**答弁** 社会資本整備総合

交付金には、北船岡町営住宅3号棟建設事業、町道船岡東36号線狭あい道路工事などがあり、2分の1の補助となる。防災・安全社会資本整備交付金は、町道槻木169号線ほか19路線の道路補修事業、町道富沢16号線道路改良事業で、10分の5.5の補助となる。他に、住宅建築物安全ストック形成事業や地震災害対策事業などがある。



仙南広域事務組合での滞納対策



# 歳出

## 防犯灯新設

**質疑** 防犯灯新設改良工事は地域計画とも深く関わりますが、通学路への配置はどうなっているのか。

**答弁** 通学路周辺の防犯灯は、槻木小学校の学区を優先的に整備していく。特に槻木中学校周辺、四日市場地区などについて、行政区と相談のうえ設置していく。

**質疑** 震災時に寄贈されたLED防犯灯の残数は。 **答弁** 寄贈された1千500基のうち905基が残っている。しかし、平成25年度



計画的に整備していく防犯灯

議を重ねていく。また、地域計画とすり合わせて、町の地域防災計画をよりよいものにしていきたい。

地域計画で、防犯灯を500基設置してほしいと要望されたため、今後2、3年中に計画的に設置すると、在庫はなくなる見通しである。

## 地域防災計画

**質疑** 町の地域防災計画改定業務の詳しい内容は。

**答弁** 今回の改定業務では、震災を経験したこと踏まえ、避難所のあり方、特別警報、情報伝達方法などを見直す。

**質疑** 地域防災計画と地域で考えている防災計画との関わりは。

**答弁** 地域ではいろいろな訓練を行っているが、机上のところもあり、実践的に活動できるように協



4月11日に開園した第二たんぼ幼稚園

## 第二たんぼ幼稚園開園

**質疑** 私立幼稚園民間移行補助金について説明を。

**答弁** 柴田児童館を廃止し、第二たんぼ幼稚園設置に伴う、学校法人柴田学園への初期投資に対する運営費補助金。今回は初年度になるため、初期の導入、設置に対する財政支援である。

## 地区集会所トイレ改修

**質疑** 地区集会所トイレの改修工事は、どこを予

定しているのか。 **答弁** 26年度では、20区と26区のトイレを簡易水洗にする。

## 地域サインに間伐材利用を

**質疑** 地域サインのデザインについて、詳しい説明を。

**答弁** 里山での間伐材を活用し、里山などに設置する公共サインを作成するものである。デザインは、統一性のあるものとし、シルバ

人材センターに作成を委託する。

## 柴田斎苑老朽化対策

**質疑** 仙南広域事務組合の事業である柴田斎苑の計画は。

**答弁** 主な内容は、老朽化した柴田斎苑の一日も早い建て替えを考えている。26年度は、基本計画の策定委託やPFI方式の可能性調査などを行う。

## 環境指導員増員

**質疑** 環境指導員の増員は。

**答弁** 25年度では15人体制だったが、人員を増やし強化をしなくてはならないことから、1人増員の予算とした。

## ごみ委託料の増加

**質疑** ごみの処理費用経費が昨年度より増えているが、その理由は。

**答弁** ごみ袋の有料化に伴って、前年度と比較すると、燃やせるごみは約3割減少。燃やせないごみは、約18割減少している。

しかし、消費税が5割から8割になったこと、さらに燃料費増加などの経費が増えたため、委託料を増やす予算とした。

## 西住児童館の活用

**質疑** 幼児型児童館が廃止となることにより、西住児童館を今後どのように活用していくのか。

**答弁** 26年度より、新たに自由来館型の子育て支援の部屋として、施設を活用していく。

また、今まで西住公民館で行っていた放課後児童クラブを、4月から西住児童館で実施することとなる。それに伴い、乳幼児専用のトイレを、大人用に改修する。



求められるごみの徹底した分別（大河原衛生センター）

### 健康づくりポイント事業

**質疑** 26年度から始まる健康づくりポイント事業の内容は。

**答弁** 町民の健康に対する意識の向上を目指し、健康づくりへの積極的参加へのきっかけづくりを行う事業である。

対象者は20歳以上の町民で、対象事業は各種検診、健康教室や各種スポーツ事業など48件を予定している。

参加すると1ポイントがつき、10ポイントで柴田スタンプ会の商品券500円と交換できる内容である。



ポイントを集めて商品券をゲット

### 空き店舗の新たな活用

**質疑** 空き店舗を利用した起業家支援事業について、26年度の取り組みは。

**答弁** 25年度では、町内8商店街の空き店舗の調査と二本松市の取り組みを視察した。

26年度は、例えば空き店舗を活用したコミュニティカフェなどを計画し、商工会と連携して協議していく。

### しばたの桜100年計画

**質疑** 「しばたの桜100年計画」は。

**答弁** 25年度で桜台帳の整備が終わり、その中で課題の抽出を行った。26年度では、桜の保護育成に向かつて、専門家や関係者などと協議を進め、将来への方向性を定めていきたい。



修繕予定の船岡城址公園三の丸ステージ

### 三の丸ステージ修繕

**質疑** 観光整備費の修繕は、どこを予定しているのか。

**答弁** 船岡城址公園三の丸広場のステージの修繕を予定している。ステージを高圧洗浄し、塗装をする。さらに床の改修も行う。

### イノシシ対策

**質疑** 有害鳥獣駆除対策協議会への補助についての内容は。

**答弁** 昨年から電気柵事業や、1頭につき1万円捕獲奨励金を支給した。26年度では、箱わなを10箱増設する。箱わな購入に対して、資格を持つている方が狩猟期間中に購入した場合、3分の1を補助する。また狩猟免許取得講習会の受講費用への支援などをしていく。

### 大原都市下水路修繕工事

**質疑** 大原都市下水路修繕工事の詳しい内容は。

**答弁** 大原地区のJ・R沿いに都市下水路がある。昨年、側壁が倒れるという被害があった。工事の内容は、危険な箇所について、予防措置として水路の上に梁を架ける工事であり、40カ所を予定している。

### 船迫小学校プール改築

**質疑** 船迫小学校プール改築工事実施設計の説明を。

**答弁** 船迫小のプール改築工事については、宮城県地震防災緊急5カ年計画の中で、飲料水確保の面を考慮して、槻木小学校の浄水型プールと同じ機能を有するものを要望している。今後は費用・維持費の面などを調整していく。

### ジャンボすべり台解体工事

**質疑** 柴田小学校にあるジャンボすべり台解体工事が計上されている。解体後の計画は。

**答弁** 解体後の新たな遊具設置の計画はない。以前、校庭整備をしたときに、新しい遊具としてジャングルジムなどを既に設置している。

### 総合型地域スポーツクラブ設立支援

**質疑** 総合型地域スポーツクラブ設立支援金を計上しているが、この事業の詳しい内容を。

**答弁** 総合型地域スポーツクラブ設立支援として、240万円を計上している。内容は、主に人的支援と備品購入である。そのため、スポーツ振興室に、仙台大学からスポーツクラブに精通している1人を雇用する。



クラブ設立に向け協議を重ねる準備委員会



3月会議

# 給食センター建設に向けて積立開始へ

アレルギー対策に対応できるセンターを目指して

## 学校給食センター 基金条例可決

平成27年度に策定する町総合計画の後期基本計画で、学校給食センターの建設時期を明記していく。基金を設置し、現在の給食センターの緊急修繕や、新しい給食センターを建設する際の財源を確保するため、26年度から積み立てる。

**質疑** 計画的な財源確保を図るために、毎年いくらずつ積み立てるのか。  
**答弁** 9月の決算で出た剰余金を積み立てていく。

**質疑** アレルギー対策についての考えは。  
**答弁** アレルギー対策に対応できる機能を持った給食センターにしていく。



笑顔がはじける初めての給食(榎木小)

## 柴田町職員定数条例改正

この条例は、役場職員の限度数を定める条例。現職員292人に対し、条例定数が401人になっている。整合性を図るため、職員の限度数を325人に改める。

## 7路線

### 町道に認定

#### 下名生48号線を 町道路線に

町道下名生48号線は、これまで生活道路として利用されている道路である。この区間は、町道下名生12号線と、下名生21号線を結び、一連の道路形態であることから、延長128メートルを町道に認定するものである。



町道に認定された下名生48号線

#### 船岡城址公園内園路 6路線を町道路線に

船岡城址公園内の園路整備に伴い、(仮称)さくら連絡橋につながる県道、町道全てが連続した道路網として形成されることになるため、6路線を認定するものである。



展望デッキに向かう園路(船岡城址公園)

## 公共施設の 指定管理者が 決まる

現在、指定管理者制度により管理している施設の指定期間が、平成26年3月31日で満了となることから、引き続き地方自治法の規定に基づく指定管理者を指定することとなる。

審議した結果、それぞれの施設の指定管理者が下表のとおり決まった。



町内を一望できる太陽の村

	施設の名称	指定法人その他の団体
指定管理者一覧	各地域の集会所 (39 集会所)	第 1 区行政区～第 30 区行政区
	上川名構造改善センター	第 19 区行政区
	富上農村公園	第 25 区行政区
	葉坂構造改善センター	第 22 区行政区
	入間田農村公園	第 26 区行政区
	成田農村公園	
	柴田町観光物産交流館	
	柴田町船岡城址公園スロープカー	一般社団法人柴田町観光物産協会
	柴田町太陽の村	

## 人事案件

固定資産評価審査委員  
の選任に同意

齋藤和弘氏(再任)

(東船迫二丁目)

一般会計6億2,043万円の大幅増額補正

北船岡町営住宅3号棟新築実施設計委託  
槻木小学校プール改築など

25年度予算126億7,681万円に

3月会議



浄水機能つきプールに生まれかわる  
槻木小学校

平成25年度3月補正予算は、市街地整備総合交付金事業（仮称）さくら連絡橋ほかなど、歳入歳出それぞれ6億2千43万円を増額し、全会一致で原案のとおり可決しました。

**質疑** 槻木小学校プール改築工事のスケジュールは。  
**答弁** プールの使用が終わる26年9月からの工事になるように進める。  
**質疑** 中学3年生インフルエンザ予防接種の効果は。  
**答弁** 接種率は79・5％。昨年、インフルエンザにかかった生徒は16人。今年度は1人。一定の効果はあったと言える。

平成25年度3月会議 補正

会計区分		補正額	補正後の額
一般会計		6億2,043万円	126億7,681万円
特別会計	国民健康保険事業	△5,527万円	44億3,644万円
	公共下水道事業	4,921万円	20億203万円
	介護保険	△8,020万円	24億1,293万円

2月会議

平成25年度2月会議が、2月21日に行われました。柴田町地域福祉センターの指定管理者の指定や平成25年度一般会計補正予算などを審議し、原案のとおり可決しました。

柴田町地域福祉センターの指定管理者が決まる

柴田町地域福祉センターの指定管理期間が、平成26年3月31日で終了することに伴い、施設管理の業務を指定管理者に行うものである。審議の結果、社会福祉法人柴田町社会福祉協議会が、平成26年4月1日から5年間の指定管理者に決まった。  
**質疑** 施設の修繕に関するの基準は。  
**答弁** 軽微な修繕は指定管理者で、10万円以上の大規模修繕は、町が行う。

4月会議

「消費税アップに伴う経済対策」決まる

平成26年度4月会議が、4月1日行われました。議案は、4月から消費税率の引き上げに伴い、「臨時福祉給付金」と「子育て世帯臨時特例給付金」を支給するため、1億6千216万円を増額補正するものです。審議の結果、原案のとおり可決しました。

住民情報システムとは

**質疑** 住民情報システムとは、どのようなシステムなのか。  
**答弁** 現在、多岐にわたるいろいろなシステムを、標準パッケージシステムにし、集約化標準化させ経費の削減をしていく。  
また、速やかに法令改正へ対応できるシステムにしていく。



指定管理者が決まった地域福祉センター

**質疑** 周知方法は。  
**答弁** 3月20日から町のホームページに掲載している。また、広報しばたなどで周知していく。  
**質疑** 申請時期は。  
**答弁** 申請受付は7月からで、申請期間は1カ月くらいを目安にする。



# 本会議出欠状況・議案等審議結果

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表しています。  
 ※議長は、予算審査特別委員会には入りません。  
 ※平成25年4月から通年議会が始まり、会議の呼び名も平成○年度○月会議となりました。

## ●本会議出欠状況

区分	主な内容	月日	出席者数	出欠状況																
				平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	斎藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	高橋たい子	安部俊三	佐々木守	広沢真	有賀光子	水戸義裕	舟山彰	白内恵美子	我妻弘国	星吉郎
(平成25年度)2月会議	本会議	変更契約、指定管理、補正予算	2.21	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(平成25年度)3月会議	本会議	町政報告、施政方針、一般質問	3.10	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問	3.11	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問	3.12	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問、条例、指定管理者の指定等	3.13	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		補正予算審議、26年度予算上程、総括質疑	3.14	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算審査特別委員会	正副委員長の互選等	3.14	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		平成26年度予算審議	3.17	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		平成26年度予算審議	3.18	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		平成26年度予算審議	3.19	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
		平成26年度予算審議	3.20	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
本会議	平成26年度予算採決、追加議案審議等	3.20	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(平成26年度)4月会議	本会議	補正予算	4.1	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

## ●議案等審議結果

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表します。  
 ※「議」は表決時に議長のため、また「-」は表決時に議場にいないため表決に参加していないことを表します。  
 ※紙面の都合上、特別会計については、まとめて表示しています。なお、ホームページでは、議案ごとに表示しています。

区分	件名	議決月日	表決者数	賛成	議決結果	表決状況														
						平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	斎藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	高橋たい子	安部俊三	佐々木守	広沢真	有賀光子	水戸義裕	舟山彰	白内恵美子
(平成25年度)1月会議	柴田町農業委員会委員の推薦について	2.21	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	平成25年度(仮称)さくら連絡橋新設工事(債務負担行為)委託変更契約について	2.21	17	15	原案可決	○	○	○	否	○	○	○	○	○	○	○	○	否	○	議
	指定管理者の指定について(柴田町地域福祉センター)	2.21	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	平成25年度柴田町一般会計補正予算	2.21	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	固定資産評価審査委員の選任について	3.13	17	17	選任同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
(平成25年度)3月会議	町道路線の廃止について	3.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	町道路線の変更について	3.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	町道路線の認定について	3.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	柴田町学校給食センター建設等整備基金条例	3.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	柴田町職員定数条例	3.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	柴田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	3.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	柴田町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例	3.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	柴田町社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例	3.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	柴田町都市公園条例の一部を改正する条例	3.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	指定管理者の指定について(柴田町地区集会所)	3.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	指定管理者の指定について(柴田町新農業構造改善センター)	3.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	指定管理者の指定について(柴田町農村公園)	3.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	指定管理者の指定について(柴田町観光物産交流館、柴田町船岡城址公園スロープカー及び柴田町太陽の村)	3.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	平成25年度柴田町一般会計補正予算	3.14	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	平成25年度柴田町特別会計補正予算(国民健康保険事業、公共下水道事業、介護保険)	3.14	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	平成25年度柴田町水道事業会計補正予算	3.14	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	平成26年度柴田町一般会計予算	3.20	17	14	原案可決	○	○	○	否	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	平成26年度柴田町特別会計予算(国民健康保険事業、公共下水道事業、介護保険、後期高齢者医療、土地取得)	3.20	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	平成26年度柴田町水道事業会計予算	3.20	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	平成24年度(仮称)さくら連絡橋建設工事(桁製作)(繰越明許)請負変更契約について	3.20	17	15	原案可決	○	○	○	否	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	平成25年度(仮称)船泊こどもセンター新築工事(建築工事)請負変更契約について	3.20	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	平成25年度三名生児童館新築工事(建築工事)(繰越明許)請負契約について	3.20	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	道州制導入に反対する意見書	3.20	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
労働者保護ルール改悪反対を求める意見書	3.20	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
(平成26年度)4月会議	本会議	平成26年度柴田町一般会計補正予算	4.1	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

# 一般質問



平間奈緒美 議員

**Q** 子ども医療費助成の所得制限をなくすべきでは

**A** 一定の所得制限を設けることが必要



子どもは地域の宝

**問** 子ども・子育て支援新制度が、平成27年度から始まる。取り組みは。

**答** アンケート調査の実施、子ども・子育て支援事業計画の策定に取り組みなど、新制度の円滑な移行に向けて必要な準備を進めていく。

**問** 中学生までの子ども医療費助成は、子どもの健康を守る意味でも、保護者の所得制限をなくした一律の助成が望ましいのでは。

**答** 将来的に持続可能な制度にしていくためには、

一定の所得制限を設けることが必要。医療費助成に、年間1億2千500万円がかかるが、県の補助金は1千500万円のみ。今後の動向も含め検討する。

**問** 子育て家庭の住環境整備に取り組みには、空き家の有効活用も必要では。

**答** 今後、空き家条例を検討する中で、空き家バンクを導入している自治体の事例検討と、子育て支援のニーズを把握し、さらに研究に努める。

**問** 子育て支援を目指す

気概が必要では。

**答** 子育て支援の充実に取り組み、魅力あるまちづくりを進めていく。

**問** 子どもたちが将来の夢に向かって進むためには、基礎学力が必要。町長の考えは。

**答** 基礎学力の向上を含めて、生きる力が本当の意味での学力だと思う。今後も教育委員会と役割を分担しながら、力を入れていく。

町道船岡32号線は、並松町菅住宅向かいからヨークベニマル方面に延びている狭い道路だが、近道ということで常に車の通行量の多い所である。住民（高齢者）の方から、「歩いていたら後ろから車に接触される事故にあった」、「中高校生にとって、照明が一つもなく不安」、「警察にもどうか規制できないか聞いたことがある」、「ここは町外れだからほったらかしにされるのか」など、

強い口調で訴えられた。

**問** 町長をはじめとして、執行部はこの危険な状況を正確に把握しているのか。

**答** 町道船岡32号線の延長は470㍎で、道路幅員が狭い区間は160㍎ある。その区間の舗装幅は25㍎で、道路敷の全幅でも47㍎しかない。車両がスピードを出して通行するなど、歩行者の通行に支障をきたしていることを認識している。

**問** 七作の用水路に少し

ずつ蓋をしているように、この道路にも少しずつ側溝か歩道、街灯を作ることはできないか。

また、車と車、車と人がすれ違える避難帯を設置すべきと思うがいかがか。

**答** 今後、注意喚起のための看板や街灯、そして退避所の設置など、どのような安全策が可能か、地元行政区の方々を含めて検討していく。

**Q** 狭い町道の危険解消について

**A** 地元と相談して安全策を検討していく



舟山 彰 議員



安全策が待たれる町道船岡 32 号線





吉田和夫 議員

**Q** 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)の 検診時導入を

**A** 国の動向なども踏まえ、 予防対策の充実に努める



あなたもCOPDの受診を

COPDによる死亡者は、日本において年間1万5千人、推定患者数はなんと500万人以上と試算されている。2012年人口動態統計によると、日本人の死亡原因の第9位までになっている。世界的にも危惧されており、世界保健機構は2030年には死亡原因の第3位になると予想している。COPDは進行性の疾患であり、運動時の呼吸困難や慢性のせき、たんなどを伴うもので、主な原因は喫煙であり、ほかに粉じんや化学物質の吸引によるものである。早期に発見することにより、医療費の削減につながる。

**問** 習慣的喫煙者の42・2割がたばこをやめたいと思っているところがあるが、その具体的な施策は。

**答** 特定健診等結果相談会などで個別に相談を受け、禁煙外来を行っている医療機関の紹介など、情報提供に努める。

**問** 健診時にCOPD問診票を取り入れた画期的

な肺がん検診を導入し、脚光を浴びている自治体がある。町でも導入すべきでは。

**答** 医療機関や検診委託機関との調整を図りながら、COPD問診票を取り入れることを検討する。喫煙によりCOPDのリスクが高くなることから、当面は、禁煙などの生活習慣の改善についての予防対策の充実に努めていく。

**問** 農地中間管理機構が、町に設置された場合の職務体制を、どのように考えているか。

**答** 国・県からの通知などがあり次第、関係機関と協議しながら役割を分担し、対応していく。

**問** 受け手となる担い手に対する町の考え方を問う。

**答** 規模拡大では、人・農地プランを促進しながら農地中間管理機構の活用を図り、担い手への農地利用集積に努めていく。

また、機械による効率化では、おおむね10畝以上作付けする担い手が大型機械などを導入する場合に、4分の1以内を助成する集落営農水田担い手対策事業を継続実施していくとともに、生産基盤づくりに努める。

**問** 農機具購入補助の対象となる機種は何か。

**答** コンバイン、トラクタ、それにつけるアタッチメントなどで、対象者は認定農業者、生産組織、集落営農組織である。

**問** 受け手の耕作面積が多くなればなるほど、施設の拡大も必須となることから、育苗ハウス、発芽器、スプリンクラーなど、助成の幅を広げる考えはないか。

**答** 育苗の場合は、今後そのような対応を考えていかなければならない。

助成を考えた場合、町単独になるのは別として、まず国の補助制度から考えて実施していきたい。

**Q** 担い手の農機具購入 補助対象機種の 拡大を



高橋たい子 議員

**A** 国の補助制度を利用し、 今後対応していきたい



いよいよ始まった今年の水田作業



高藤義勝 議員

**Q** サービス付き  
高齢者向け住宅  
の普及を

**A** 普及は遅れているが、  
今後は、情報提供に努めたい



巨理町逢隈にあるサービス付き高齢者向け住宅

**問** 我が国は10年後には3人に1人が高齢者という超高齢者社会が迫ってきている。今までは自宅での生活が困難になった場合、特養に入所してきた。しかし、高齢者の急増に伴い入居待機者が全国で42万人を超えている。打開策として平成23年10月よりサービス付き高齢者向け住宅制度が始まった。今後10年間で60万戸が整備されるという。サービス付き高齢者向け住宅を建設した場合

**答** の優遇措置は。補助金は建築費の1割、税制面は固定資産税の減額・不動産取得税の軽減措置、融資制度の優遇などがある。

**問** 施設建設に向けて、町の後押し対策は。

**答** 他町の例をみると、土地・建物のオーナーと介護事業者の二元化が多いので、情報提供の参考にした。

**問** 国策で60万戸を整備するとされているが、人口3万8千人の柴田町で

**答** は、関心が薄いのでは。現在はゼロだが、制度が始まって1年半なので、情報不足は否めない。今後、情報提供に努める。

**問** 基本的には民営だが、町が直接作る考えは。

**答** 町の土地所有者は、現在アパート経営に進んでいる。現制度では入所後の管理に不安が残り、町が乗り出すには国の補助金制度が不可欠である。そうならば、住みやすい槻木地区に誘致したい。



安部俊三 議員

**Q** コミュニティづくりは、  
6小学校区ごとの  
推進を

**A** 地域計画によるまちづくりが始まっている。  
現状を維持し手助けを果たす



確かなステップ 育くむ絆 (槻木生涯学習センター)

**問** 公民館等において、地域の課題に対する支援が不足しているのでは。

**答** 槻木地区に新たな地域づくりの協議会が立ち上がるなど、地域づくりの支援効果は出てきている。まちづくり事業として行政区単位の地域計画を策定し、より身近な地域づくりが始まっているので、生きがいやふるさとづくりの支援を行っていく。

**問** ゆる・ぷら、公民館等、どちらも現状で良いと

思っているのか。

**答** 地域支援の充実という観点から、ゆる・ぷらと生涯学習センターとの連携強化を図っていくことは不可欠である。

**問** 公民館等が、よりコミュニティづくりの手助けを図るため、1小学校区、1公民館、1コミュニティに戻す考えはないか。

**答** 職員が常駐している生涯学習センターに比べ、職員が常駐していない地区館は、地域住民とのコ

ミュニケーションが少ないと感じている。しかし、地域計画によるまちづくりが始まっていることでもあり、現状を維持し、コミュニティづくりの手助けを果たしていく。

**問** 農村環境改善センターと西住公民館に、地域性を加味し、職員を配置すべきではないか。

**答** 今後、地区館については、指定管理者制度の導入に向けて進まなければならないと思っている。

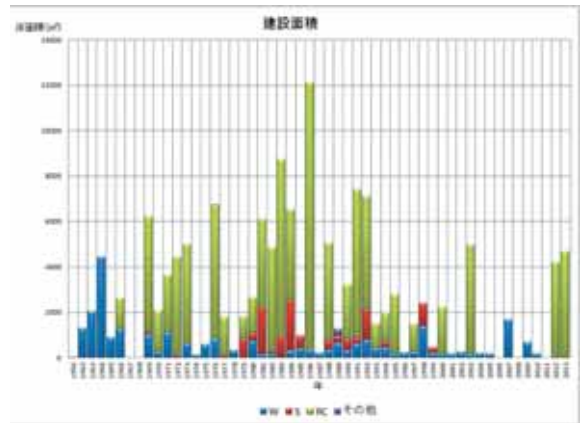




秋本好則 議員

## Q 公共施設の維持管理計画を問う

### A 国の方のメンテナンス補助を 目ざとく見ていく



維持管理の参考となる柴田町の年度別建築面積

私は柴田町の公共施設を調べたが、253棟の建築物があり、16万平方メートルの床面積になっている。用途で大きな物は集会所の11軒だが、安全性は一定ではない。また、耐用年数があり、時期が来れば物理的に使用できなくなる。公共施設マネジメントを作る考えは。

**問** 集会所の維持管理計画、改修時期と経費は。

**答** 第5・並松・7A・第10・新田・船迫・中名生集会所の7つが耐震基準を満たさない。改修時

期も決まっていないが、余裕ができた次第改修する。

**問** 総務省のデータでは、公共施設の住民1人当たり床面積は3・22平方メートルだが、柴田町は4・17平方メートルと大きいのではない

**答** 数値では判断できない。地域づくり推進のため施設を整備してきた。

**問** 公共施設とインフラのメンテナンスと更新の計画について問う。

**答** 総務省の試算ソフトを使いながら、これから考える。

**問** 自治総合センターのデータから推測すると、毎年19億6千万円の更新費用が必要となるが、準備は。

**答** お金が掛かることは予測できるので、基金を作るとか、フラットになるように進めていく。

**問** 更新費用で建築物の比率は44割。現在は必要額の25割のみ。更新の手法に事業提案制度の考えは。

**答** 国の方でもメンテナンスは見ているので、事前にキャッチしていく。



水戸義裕 議員

## Q 災害時相互応援協定の今後の考え方は

### A より効果のある協定を 目指していく



訓練に勝るものなし

**問** 震災から3年、全国で防災計画が見直されている。被害が発生した場合を考慮し、被災地へ災害支援ができる、遠方の自治体との災害時相互応援協定の締結が増えている。この協定への本町の取り組み状況は。

**答** 現在、福島、宮城、山形県内4広域圏の33市町村、姉妹都市の北上市、歴史友好都市の北海道伊達市など5市町、宮城県内全市町村と協定を締結している。また、町内の

企業や組合とも協定している。今年4月の「さくらサミット」開催時に、13の市町と協定締結に向け進行中である。

**問** 本町の防災計画見直しに相互応援協定を盛り込み、締結を実現して欲しい。今後の方向性は。

**答** 支援を受けるだけでなく、支援することも考慮し、防災計画を見直す際に明記して進めたい。他の自治体の動向を参考にし、より効果のある協定を目指す。

**問** 本町の自主防災組織率は100割、隣の地区と共同で防災訓練をするとか、自主防災組織の連絡協議会を設置するなど、稼働率の向上策を伺う。

**答** 全行政区で組織されているが、実地訓練をしている地区と、机上訓練のみの地区と温度差がある。防災訓練を隣接地区と一緒にしてはどうかという意向もあるので、区長会を通して協力体制を進めていく。



佐々木守 議員

**Q** 地域計画に基づく事業の進捗状況は

**A** 42行政区中、35の行政区で地域計画に基づき事業を実施



地域計画で作成した交通安全の看板（第29A区の取り組み）

町は今年度、地域計画に基づく事業への補助金の交付や地域づくり支援員による地域支援を実施している。

**問** 地域計画に基づく事業の進捗状況は。

**答** 平成25年度は、42行政区中、35の行政区で策定した地域計画に基づき、花いっぱい運動や地区のお祭り、防災訓練などの103のソフト事業、敬老会の特定事業、そして、防災倉庫や防犯灯、各種看板設置など45のハード事業

業を実施している。

**問** 1年間経過した時点での町の評価は。また、各行政区における自己評価は。

**答** 各行政区において、実践状況に温度差はあるが、改めて地域の課題に気付いた中で、それぞれ工夫しながら事業に取り組んでいると評価している。

各行政区の自己評価は、「住民の意識が変わった」、「多くの人が参加した」、「いろいろな課題が出て

きた」などの成果や効果があったとの報告を受けている。

一方、地域計画に基づく事業を実施すればするほど、区費や実行委員の負担となっていること、高齢化で参加したくても参加できない、無関心、役員のなり手がいないなど行政区共通の課題が多いのも事実である。また、補助金の事務手続の簡素化も求められている。



平間幸弘 議員

**Q** 空き家、空き地の対策は

**A** 適正管理に向け指導強化を行う



調査研究が進む空き家対策

草木の繁茂した空き家や空き地の管理状況を見て、町として今後、どのような管理を行うのか。

**問** 現在、柴田町で空き家や、空き地の数を把握しているか。

**答** 平成25年度、各行政区長の協力を得て、空き家は115件、空き地は27件と報告があり、台帳整備を行った。

**問** 所有者に対し、適正な管理を取るよう、町で働きかけや、指導を行っているか。

**答** 苦情が寄せられた場合は、その都度、現地確認と指導を行っている。

また、所有者が遠方の場合、文書と現状の写真のほか、シルバー人材センターのパンフレットを郵送し、適正管理をお願いしている。その他、近隣住民が「樹木の管理を行って良いか」との申し出に対し、町が所有者と連絡を取り、了解が得られた場合、近隣住民に管理をお願いすることもあ

**問** 農村部の空き家対策

として、仙台大学の学生に、シェアハウスのように数名で利用してもらい、人手不足の共同作業に学生が参加し、その活動に対し、大学の単位取得につながるような施策を講ずることはできないか。

**答** 現実問題として、学生や住む方の交通手段の整備もあり、また、需要がどれだけあるか把握できていない。26年度に、条例制定などのプロジェクトの中で、調査研究していく。





白内恵美子 議員

**Q** 発達障がい者支援システムの構築を

**A** 現在の職員体制、財政状況では無理



発達支援の参考となるハンドブック

滋賀県湖南市の発達支援システムは、幼児期から就労までの長期間を、しっかりととしたビジョンを持って各領域の専門家が支援している。

**問** 町内で支援を必要とする子ども的人数は。

**答** 発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群などの広汎性発達障害、学習障害などの障害を総称したもので、正確ではないが、未就学児79人(3.6割)、小学生148人(7.3割)、中学

生41人(3.9割)である。

**問** 保健・福祉・医療・教育・就労の連携による支援を行っているか。

**答** 健康推進課、子ども家庭課、教育総務課、福祉課が連携を密にして対応し、臨床心理士が定期的に保育所などを巡回し、専門的指導を行っている。

**問** 就労支援は。

**答** 特別支援学校高等部卒業時の会議に、福祉課担当者が出席する。障害状況により進路が決まる。

**問** 親は「この子より一

日でも長く生きねばならない」と思っている。発達支援システムを構築すれば、途切れない支援ができる。保護者も安心して暮らせるのでは。

**答** 湖南市では発達支援室を設け、個別の指導計画が移行していく形で支援している。現在の柴田町の職員体制と財政状況では、発達支援室設置は無理である。一步一步着実に進まざるを得ない。



広沢 真 議員

**Q** 大雪被害を災害対策に位置づけるべき

**A** 次期地域防災計画で位置づけを検討する



歩道の除雪もひと苦勞

この2月は全国で記録的な大雪が降り、我が町でもかなりの積雪があった。町の除雪も大変な作業になっていたが、その他の対策についてはまだまだ改善の余地がある。災害対策として位置づけて、対策に取り組む必要がある。

**問** 町内の大雪の被害は。

**答** 2月9日は園芸施設のパイプハウスが8棟倒壊、15、16日は倒木や雪による通行止めが4カ所、パイプハウス倒壊17棟、

鉄骨のハウス3棟が倒壊した他、カーポートの破損があった。入間田、船迫、富沢地区で停電があった。農業関連だけで被害額は897万円に上る。

**問** 今後、除雪対策以外で雪害対策を行う考えは。

**答** 今回の大雪の状況を踏まえ、地震や水害と同様に大雪も災害対策のひとつとして位置づけ、対策本部を設置し、情報収集などをしなければならぬと考えている。

**問** 今回、対策本部は設

けなかったのか。

**答** 設置していない。

**問** 地域防災計画では、本部立ち上げのマニュアルがあるが。

**答** これまで設置したことがなかった。

**問** 高齢者や障がい者などの救援策は。

**答** 地域の自主防災組織へ、生活道路の雪かきや高齢者の安否確認などで協力をお願いしていく。



佐々木裕子 議員

**Q** 部活動遠征における  
ガイドライン策定の  
必要性は

**A** ルールづくりは必要だと  
考えている



生徒の安全のため、部活動遠征のルールづくりを

**問** ガイドライン策定について、昨年9月会議で質問し、「各学校と連携し、ガイドラインの必要性も含め検討する」との答弁があった。改めてその必要性について伺う。

**答** 保護者による送迎の場合は、相乗り後、トラブルとならないようルールづくりは必要だと考えている。

**問** 近年相次ぐ送迎中の事故報道により、万が一の時、自分の保険を利用し、金銭的、精神的にも負担を強いられる中で、

送迎する側とされる側で、意見の相違があるのでは。

**答** 今後は、全ての保護者に対し、ルールづくりを各学校で取りまどめて提案する。具体的ルールができていない部には、学校から顧問を通して保護者に提案すれば、保護者間の共通理解を得られると考える。

**問** 提案説明は、部活ごとか全体的な説明なのか。

**答** 部活ごと、保護者に対し、話をする。

**問** 学校方針やルールなど、人に伝えるためには、

言い方ひとつで中身が変わることもあり、受け取る側でも違う。学校・先生・保護者の全員が同じ気持ちで理解することが、部活動に専念できる子どもたちのサポートになることから、早目のルールづくりを。

**答** 9月会議後に各学校に周知したが、3月会議後にもルールの確認と周知をしていく。



有賀光子 議員

**Q** 介護ボランティア  
ポイント制度の  
導入を

**A** 地域支援事業の中で、  
可能であれば導入したい



頭スッキリきれいになりました

**問** 高齢者が支えられるばかりでなく、支える側に参加してもらおう仕組みづくりが必要である。

高齢者の力を生かす場として、介護ボランティアポイント制度を導入してはどうか。

**答** 平成25年度に介護保険の制度が大幅に改正され、特に要支援者の介護予防事業が大きく変わることになった。要支援者の介護予防給付である生活援助サービスが主となっている介護予防の訪

問介護や、通所介護サービスが、地域のボランティアやNPO団体などが実施する地域支援事業に移行することになる。

今後、地域支援事業の中で、介護ボランティアポイント制度が実施可能と判断される場合には、導入していきたい。

**問** 高齢化が進む中、災害時やひとり暮らしの高齢者の緊急時の対策が急務となっている。外出先でも医療情報が把握できるように、携帯用救急医

療情報キットの導入を。

**答** 22年度より救急安心カードを70歳以上の方に配布している。携帯救急安心カードについては、今後研究していく。

**問** 認知症対策等総合事業で、市町村が取り組む認知症ケアパスなど作成・普及事業について伺う。

**答** 26年度において、認知症ケアパスなど作成・普及事業に取り組み、認知症ケアパスを作成する。



「花のまち柴田」をテーマに、花咲山構想は着実に進んでおり、四季を通じて訪れる環境と体制は整いつつある。ただ、一方で、観光は船岡城址公園といった限られたイメージで捉えられている。柴田町の観光は里山観光と位置づけ、後世にその資源を残していくことが、町の財産になるのでは。

**問** 柴田町の観光は、エコツーリズム、グリーンツーリズムをあわせ持つ、里山観光と考えるが。

**答** これからの観光は、地域の資源、里山の資源を生かしたエコツーリズム、健康ツーリズムなどの体験型・交流型観光になつてくる。

**問** 公共施設に、森林資源の有効活用、循環型資源などの面で注目されている、ペレットストーブの設置を。

**答** 将来的に前向きに設置の方向で検討する。

**問** 町民を対象として、観光をテーマに講演会や出前講座を行っては。


**答** 講演会は26年度に開催していきたい。出前講座は、要請があれば積極的に出向いていく。

**問** 町なかの商店を入れた散策、モデルコースを考えているのか。

**答** 町なかを歩くマップを準備している。

**問** (仮称)さくら連絡橋の建設で、白石川堤の桜を伐採するのか。

**答** 一部の枝に手をかけるが、1本も伐採せず仕事を進める。




**Q** (仮称)さくら連絡橋の建設で、白石川堤の桜を伐採するのか

桜場政行 議員

**A** 一部の枝に手をかけるが、1本も伐採せず仕事を進める



開花を待つ白石川堤の桜並木



**Q** 船岡小学校の安全対策整備は本当に検討したのか

我妻弘国 議員

**A** 不審者侵入防止は重要なので、校舎裏の通行禁止措置を住民に知らせる



求められる学校周辺の安全対策

**問** 平成16年定例会で、船岡小学校裏の蓮華寺から東側道路まで、生活道路の安全対策整備をしなければならぬのではなにかと提案した。

**答** その後どのような対策がとられたのか。

**問** 平成16年11月に検討し、ハード面では「校地内につき関係者以外の通行を禁止します」の注意看板を2カ所に設置した。

ソフト面では「児童生徒の安全対策会議」を立ち上げ、「スクールガード講習会」などを開催し、学校と地域とともに取り組む安全対策に取り組んだ。その結果、「安全パトロール隊」や「見守り隊」などの地域の組織立ち上げにつながった。

学校への不審者侵入防止対策は、極めて重要と考えているので、改めて校舎裏の通行禁止の措置に向けて、措置の目的や開始時期などを周辺住民

徒の安全対策会議」を立ち上げ、「スクールガード講習会」などを開催し、学校と地域とともに取り組む安全対策に取り組んだ。その結果、「安全パトロール隊」や「見守り隊」などの地域の組織立ち上げにつながった。

学校への不審者侵入防止対策は、極めて重要と考えているので、改めて校舎裏の通行禁止の措置に向けて、措置の目的や開始時期などを周辺住民

にお知らせするとともに、ご理解をお願いしていきたい。

## 掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

### 舟山 彰 議員

問 河北新報に、柴田町など8町の情報公開が制限を加えた規定だとの指摘があった。

答 情報公開の請求権者は、町民だけに限定しているものではない。

問 三重県玉城町のオンデマンドバスには、ステップが付いていて便利。

答 本町のはなみちゃん号にステップを付けるかは、今後タクシー業者と協議していく。

### 吉田和夫 議員

問 民間の活力を利用し、サービス付き高齢者向け住宅を誘致できないか。

答 シルバーハウジングもあることから、槻木での誘致に向け検討する。

### 高橋たい子 議員

問 行政区に除雪機の配置は考えられないか。

答 地区からの手あげ方式で、配置を検討する。

### 水戸義裕 議員

問 震災時も震災後も情報収集の必要性を感じた。タブレットをツールとしてICT\*の活用を。

答 ICT\*を含め複数の手段を利用し、町民への情報伝達がスムーズになるよう検討する。

### 佐々木 守 議員

問 介護保険制度改正で他市町村の施設を利用した場合、同じサービス提供を受けられるのか。

答 町と当該事業所との委託契約をすることにより、町外の介護予防サービスを受けられる。

問 さくらマラソン大会を計画している実行委員会に対して、町の支援対策は。

答 3月23日に開催される実行委員会総会後に、具体的な支援方法などを話し合っていく。

### 白内恵美子 議員

問 早急に公共施設白書を作成し、今後の公共施設の在り方の検討をすべきでは。

答 公共施設白書は重要であると認識しており、早期に着手したい。

問 図書館建設には、最初の段階から専門家が必要。新たな図書館建設へ向け人材の確保を。

答 現段階では建設時期、場所、規模などは未定。今後の勉強会で取組方法を研究していく。

問 保育所や幼稚園、公園など、子どもが遊ぶ場所の土の放射性物質測定を早急を実施すべき。

答 空間放射線量が低下していることと、国や県による土壌の基準がないため、測定はしない。

### 広沢 真 議員

問 消費税が4月1日から8%に増税になる。町内の業者、商店の営業を支援する施策は。

答 景気動向を見て、プレミアム商品券発行を検討する。リフォーム助成は考えていない。

### 佐々木裕子 議員

問 大雪による仙台河川国道事務所からの要請は。また、賞味期限間近の備蓄食料の数は。

答 要請はなかった。備蓄食料の数は500余りあり、町が保管している。

### 我妻弘国 議員

問 多くの自治体が空き家対策を打ち出している。町の対策は。

答 平成26年度に、空き家条例制定準備検討会を立ち上げ、条例案の作成に着手する。

問 7月に町長選挙がある。再立候補を考えているなら、首長の多選について伺う。

答 3月会議は、当初予算を課題とする重要な会議なので、この会議だけに集中していく。

※

インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジー  
ICT=Information and Communication Technology  
コンピューターやネットワークに関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称であり、ITと同義語。



# 常任委員会レポート

各常任委員会は  
各課の仕事を  
調査しています。

## 総務

- 調査日 平成26年1月29日～30日
- 調査内容
  - 町有地の現状について
  - 第5次柴田町総合計画後期基本計画について
  - 廃棄物処理でリサイクルについて視察(株)JAC)

### 町有地の未利用地の活用を

#### 《財政課》

- 西船迫地区の町有地は一部、公営住宅入居者の駐車場として賃貸されているが、活用されていない町有地について有効的な利用を検討すること。
- 不二トッコン跡地の活用については、将来にわたる町の財政状況を十分に精査しながら、慎重な活用を図ること。



不二トッコン跡地の調査

## 文教厚生

- 調査日 平成26年1月14日～15日
- 調査内容
  - 高齢者向け住宅等の利用状況について視察(チアフル岩沼・ウェックガーデン巨理逢隈・第二常盤園)
  - 平成26年度の事業計画について

### 郷土館事業の充実と

### 健康づくり新事業の周知徹底を

#### 《福祉課》

- サービス付き高齢者向け住宅は町民からの要望が多いため、民力活用の情報提供に努めること。

#### 《健康推進課》

- 新しい事業の「しばた健康づくりポイント事業」は、各課の縦割りの弊害をなくして、制度の周知徹底を行うこと。

#### 《生涯学習課》

- 町の歴史については全町民が関心を持っているので、しばたの郷土館で専門家を招いて講座を開催し、歴史を後世に伝える努力をすること。
- 図書館では著名な作家などの講演会を開き、未利用者への働き掛けをすること。

## 産業建設

- 調査日 平成26年1月16日～17日
- 調査内容
  - 柴田町土地改良区の業務内容(視察)
  - 公共下水道・新栄污水枝線工事の進捗状況について
  - 水道事業料金徴収等の業務委託の状況について

### 水道事業料金徴収業務委託の周知徹底を

#### 《上下水道課》

- 下水道工事の施工については、次の点に留意して行うこと。
  - 騒音など住環境に配慮し、安全に工事を進めること。
  - 工期や経費の削減のため、今後も新工法の調査をして、次回の発注に生かすように努めること。
- 水道事業料金徴収等管理業務委託については、次の点に留意して行うこと。
  - 委託業者との引き継ぎをスムーズに行い、運用が停滞しないよう初期対応に努めること。
  - 水道料金の徴収が民間委託となること及びコンビニ収納もできることの周知徹底を。
  - 委託事業の監督を担当する業務があることを認識して、対応に努められたい。

# 常任委員会等行政視察 報告

報告書は町ホームページにも掲載しています。

## 常任委員会等視察先及び日程

- **議会運営委員会** 平成 25 年 11 月 18 日～20 日  
兵庫県加西市、兵庫県洲本市、野島断層保存館  
議員 8 人 事務局 1 人
- **総務常任委員会** 平成 26 年 1 月 14 日～16 日  
和歌山県海南市、奈良県三郷町、奈良市防災センター 議員 6 人 事務局 1 人
- **文教厚生常任委員会** 平成 25 年 8 月 6 日～8 日  
岐阜県瑞穂市、滋賀県湖南市、滋賀県愛荘町  
議員 6 人 事務局 1 人
- **産業建設常任委員会**  
平成 25 年 10 月 15 日～17 日  
和歌山県白浜町、和歌山県田辺市  
議員 5 人 事務局 1 人
- **議会広報常任委員会**  
平成 25 年 7 月 29 日～30 日  
東京都千代田区「シェーンパツハ・サボー」  
第 78 回町村議会広報研修会  
議員 7 人 事務局 1 人

### 議会運営委員会



兵庫県加西市

#### 兵庫県加西市

#### 議会基本条例制定と運用

議会活動が市民に知られていないとの反省から開かれた議会を目指して議会改革委員会を設置した。そこでの議論を経て議会基本条例を平成 22 年に制定した。

- 主な内容は次のとおり。
- 議会資料の配布
- 年 2 回の議会報告会
- 論点を絞る反問権
- 議会の会期にかかわらず、文書による質問を受付
- 政策等の形成過程の説明資料の配布
- 討論と討議の充実
- 政策検討会の設置

施行から 2 年が経過しているが実際に運用された実績が少なく、加西市議会でもこれからの課題

#### 兵庫県洲本市

#### 議会基本条例制定と運用

平成 18 年の合併を経て議員削減の問題から議会基本条例を制定した。内容は次のとおり。

- 会派の定義
- 議員間の討議を規定
- 月 1 回の議員研修
- 争点を明確にする逆質問権（反問権）
- 公開性の確保と報告会の実施

定期的な議員研修と議場の映像配信は、議員の質の向上と議会討論の理解には効果的と感じた。

我が町でも基本条例が施行されているが、本格的な運用はこれからであり、両市の取り組みを参考に「議会活性化」の必要性を強く感じた。

### 総務常任委員会

#### 和歌山県海南市

#### 防災体制

海南市では東海・南海・南海地震に備え、自治会単位での自主防災組織の結成を目指している。災害時には公的機関のみの活動には限界があることから、このような組織の必要性は知られているが、海南市には防災士の育成にも使える自由度の高い自主防災組織育成補助金があり、ハード面に限らない点に注目した。

また、「防災・災害情報システム」が既に導入されており、未整備の我が町にとつても参考になると思われる。

#### 奈良県三郷町

#### 予約制乗合タクシー

三郷町では予約制乗合タクシーを視察した。

公共交通機関もあるため、競合しないように配慮されていた。16 カ月間の実証運行を経て、平成 23 年 12 月から本格運行されている。実証運行の間に利用者の声の分析や関係者との協議を行い、運



奈良市防災センター

行区域、運行日、運行時間などの修正が行われた。特に驚かされたのは専用の乗降場で、公共施設や商業施設・駅前などに数を限定して設置されている。交通弱者の足の確保を続けていくためには、利用者の声を反映させた利便性の高いものにしていくことの必要性を感じた。

#### 奈良県奈良市

#### 防災センター

市防災センターは、消防局の通信指令室と情報連絡室としての機能のほか、自然災害や消防の体験ができる複合施設であった。

自然災害を疑似体験しておくことは、大人だけでなく、子どもにとつて非常に有意義であること強く感じた視察となった。



# 文教厚生

常任委員会



岐阜県瑞穂市

## 岐阜県瑞穂市

### 総合型地域スポーツクラブ

この種のクラブは、障がい者を含む年齢やレベルの区別なくスポーツに親しむことのできるクラブ。「なかよしクラブすなみ」は住民からの要望ではなく、行政主導で作られたが、運営は住民主体が進められている。

我が町で検討される地域スポーツクラブも多様性を持ち、地域住民各々が望む形でスポーツの良さに触れられるようにすることが大切になる。

このような団体が学校や体育施設を有効に活用することで、新しい人材を生み出すことができ、我が町も特色あるスポーツクラブ育成を図ってきたい。

## 滋賀県愛荘町

### 愛知川図書館

同施設は平成12年12月に開館し、びんてまりの館、やすらぎ公園とともに「ゆうがくの郷」を構成している。

初代館長の渡辺氏は、

まちづくりとの関係を大切にして作業を進め、本の年間貸出総数は32万冊で、住民一人当たり16冊にもなる。我が町でも、この建設過程を参考に計画することが大切と考える。

## 滋賀県湖南市

### 発達支援システム

市では発達支援システムを導入して、長期一貫の支援を提供している。また、独自の自立支援の条例が制定され、ライフステージごとに支援の充実を目指している。

発達障がい児の支援はその特性から早期診断が難しい。早期に適切な支援を受けることが大切だが、保健、福祉、医療、教育などで別々の支援になっており、一貫性のある支援にする必要がある。

# 産業建設

常任委員会

## 和歌山県白浜町

### 公共建物への木材使用

白浜町は、公共物に木材利用を促進させる目的の法律に基づき、木材使用を進めている。

実際に「とんだ幼稚園」

を見学したが、構造は鉄骨造でも内装に木材を多用して、鉄骨造の冷たさを感じさせない仕上げになっていった。

木材を使うという木材で全てを作ると受け取られがちだが、人に接する所に木材を使うという方法も大事だと感じた。

我が町でも町所有の土地の半分が山林なので、木材の有効利用をもっと進めることはできると考える。そのためには木材加工と流通の仕組みが必要で、白浜町でもこの点で苦勞をされたようであ



和歌山県白浜町「とんだ幼稚園」

る。

設計する側では木材に関する経験者は少ないため、基本的な仕様は、専門性を持った町職員が作る必要があると感じた。

## 和歌山県田辺市

### 空家店舗の活用とまちづくり会社

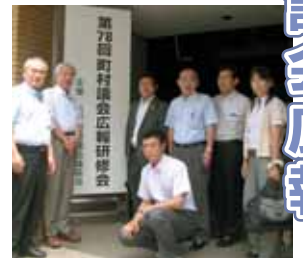
社会資本整備総合交付金を利用して街並みの整備が行われていた。

細い路地も舗装や側溝を工夫して店舗と一体化させたり、ゲストハウスを作るなど街並みの雰囲気を変えたいという意向を壊さないリノベーション事業を学んだ。

また、空店舗解消事業もしており、新規出店者には経営助言の支援もあつて、開業のきっかけづくりにはなると思われた。「南紀みらい(株)」は行政と商工会議所で作られた事業推進の組織で、まちづくりのソフト部門を受け持っていた。市職員も職員のまま運営に参加している。行政の信用力と民間の柔軟さが融合した面白い組織と思われた。

# 議会広報

常任委員会



## 議会広報紙づくりの研修

### 〇分かりやすく、ふさわしい日本語か

●新聞には一目で全体を把握できるという巧みさがあるが、広報紙は読み捨てられることもある。

●読者との間の距離感は、活字や見出しなどの物理的なものと、言葉の使い方などの心理的なものがある。この距離感を少なくすることが大事。

●見出しの表現に注意し、役所言葉や不適切な表現を避けること。

### 〇広報紙デザインの知識

●書体のサイズや文字間のスペースを調整して、見やすい紙面を作ることが大切。

●ページ内の視線の動きを考慮して、レイアウトを。●ページ内の文字の位置を揃え、文字の書体とサイ

ズを絞り込むこと。

●色の使いすぎと濃さに注意して、紙面を作ること。

●写真のテクニク  
●人物は生活感を出して。  
●アングル・構図・絞りを組みわせ、同じ目線の位置で撮影しない。

●ポートレート人物は、体を斜めに顔は正面で撮る。

●バストアップ写真は、左右の頬を7対3に。  
●半身の写真は、手のアクションに注意する。  
●子どもの写真は、躍動感を。

●表情が分かる写真は、肖像権に注意すること。

●議会広報クリニク  
●全国から応募の9町の広報紙が講評を受けた。

●読みやすい文字組か。表や図はどうか。  
●視線の流れは良いか。流れに無理はないか。  
●飽きのこない紙面か。全てのページが同じレイアウトになつていないか。

このような基準の講評。我が町の議会広報もコンクール出品が目標。

# あなたの一言



伊勢木 高夫さん  
(榎木西在住)

## 未来へ向けて

### ●柴田町に住んで感じことは

あくせくせず、温和な人が多いのは嬉しいですが、勤め先が少ないのが残念です。住宅地には最適な町と感じています。

### ●柴田町の好きな風景・場所は

やはり「さくら」です。また、都会生まれなので、夜輝く星空は万感胸に迫るものがあります。

さらに、阿武隈川の河川敷は散策や釣り人も多く、護岸整備前と比較すると格段に素晴らしくなっただと思います。

### ●町に何を望みますか

近隣市町村と比較して、雨水対策が遅れています。また、葛岡山公園の管理がいまひとつで、溜ま

り場になりやすいので、対策を考えてもらいたいと思います。

これから介護関係の需要が多くなり、「介護タクシー」も視野に入れるべきと思います。

### ●議会だよりを読んでいますか

町民の義務として必ず目を通し、関心のある記事は詳しく読んでいます。特に最近では新人議員が数多く質疑しており、大変よいと思います。

### ●議会・議員に何を望みますか

若い人がいる議会構成が望ましいです。遠い存在にならないよう、地域住民の要望を肝に銘じ、要望が住民に反映されるよう望みます。

### 議会懇談会実行委員会始動

7月26日(土)に、議会懇談会を開催します。

テーマは、「あなたの考える地域づくりの課題」です。皆様の参加をお待ちしています。

14:00 ～16:00	柴田町保健センター 榎木生涯学習センター 船迫生涯学習センター
19:00 ～21:00	船岡生涯学習センター 農村環境改善センター 西住公民館

このしばた議会だより144号は、約15,000部作成しています。1部当たりの経費は約37円です。

## 編集後記

花のまち柴田も花盛りの季節を迎え、花見客のみならず白石川の土手沿いの散策や、ウォーキングを楽しむ風景がよく見られるようになりました。船岡城址公園は今年も大勢の人でにぎわいを見せています。

「しばた議会だより」は、発行回数144号となりましたが、昨年の4月から新人議員5人と安部委員長、平間(念)副委員長のもと、よりよい紙面づくりに取り組んできています。

昨年は、全国町村議会広報研修会にも参加するなど、勉強を積み重ねて紙面の充実を図っております。今年は第三者の評価を受け、広く、広報クリニクに挑戦し、編集スタッフ一同、決意も新たに取り組みを開始しました。

町民の皆様に分かりやすく読んでいただけるよう、さらに工夫を重ねてまいります。

議会広報常任委員 吉田 和夫

## ぜひ、議会の傍聴を!!

6月会議は

6月9日(月) 午前9時30分開会予定

一般質問は

6月9日(月)・10日(火)・11日(水)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

## 町ホームページ 本会議審議等結果を掲載

町ホームページ内、「行政・まちづくり」の中の「町議会 議会だより」「議会のうごき」に、委員会・全員協議会の出欠状況を掲載しています。

柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください